

# 県内就職7割超える

## 秋田職能短大運営協 進路状況など報告

大館市の秋田職業能力開発短期大学校（後藤康孝校長）の運営を話し合う「高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会秋田職能短大部会」は15日、同校で開かれた。進路状況や2021年度事業実施状況、22年度事業計画などを報告した。

同協議会は地元の企業や行政、労働団体などの8人で組織。会合は本年度2回目で、

委員や同校職員17人が出席した。報告によると、1月末時点の学生の就職・進路状況は、修了予定の3学科49人のうち、22人が東北能開大などに進学。就職希望の27人全員が内定している。県内就職者は70・4%に当たる19人で、前

年度から2・5割増加し、3年ぶりに7割を超えた。社会人を対象とした在職者訓練の受講者数は、3月末までに200人程度の受講を見込んで……

22年度の事業計画によると、在職者訓練は6分野47コースを用意する。このほか高大連携授業やキャリア教育支援、受託・共同研究などに引き続き取り組んでいくとしている。

